

# 第3回「日本の農業と食のシンポジウム」2日目

## 「和」と「結」の精神で

### 小名木さんが講演で強調

## 食原病、環境毒の症例 改善事例

### 薬用植物の専門家 小谷氏、ここ数年が勝負

第3回「日本の農業と食のシンポジウム」2日目は前日のダイジェスト映像が上映されたあと、行われた。その概要を紹介する。「夢に由井会長が出てきて『ヘチマだ！腎臓だ！』と叫ぶ」との話も。

最初に由井寅子大会長に愛されているという感謝の挨拶が始まった。由井会長は「私が言いたいことは、自然に感応する力・情緒・情操を養うために、自分の身を自然に投じる必要があるということ。つらいことがあっても、人や物を傷つけないように、自然



終了後、関係者の記念撮影。全員、満足な表情が印象的であった。

#### 夢で会長が言う

最初は、山内知子ホメオパスが顔の湿疹と痒みが主訴の女性のホメオパシーによる改善事例。若い頃からニキビに悩まされていたクライアントは、ステロイド剤などの薬を塗って抑圧を繰り返してしまっていた。しかし、ある時期から、薬を塗っても悪化するようになっていきました。山内ホメオパスは、由井大会長考案のZENメソッドによる適切なレメディーを選択するとともに、自然

「動物における食べ物的重要性と食原病」と題して、ホメオパシー療法で改善した犬(ピーク)の症例2件について説明されました。

「甲状腺機能低下症と食物アレルギー」の例でしたが、いずれも臓器の働きを高め、ドックフードによる害を解毒するアップローチでレメディーを選

#### 夢で会長が言う

「中国は、薬用植物の生産・輸出入・国際標準化のイニシアチブを取るため、国家戦略的に着々とシステムや法の整備を進めています。一方、日本ではようやく官民一体となつて、薬用植物の国内生産を上げる取り組みを始めましたが、後手後手の対応に回っているのが実情です。また、PI C/S(医薬品査察協定)及び医薬品査察協同スキーム(加)加盟に伴う医薬品製造・管理の厳格化により、今まで使用してきた薬用植物が医薬品原料として認められなくなる可能性があります。このように、薬用植物は現在、安定供給・品質管理

「動物における食べ物的重要性と食原病」と題して、ホメオパシー療法で改善した犬(ピーク)の症例2件について説明されました。

「甲状腺機能低下症と食物アレルギー」の例でしたが、いずれも臓器の働きを高め、ドックフードによる害を解毒するアップローチでレメディーを選

#### 夢で会長が言う

「中国は、薬用植物の生産・輸出入・国際標準化のイニシアチブを取るため、国家戦略的に着々とシステムや法の整備を進めています。一方、日本ではようやく官民一体となつて、薬用植物の国内生産を上げる取り組みを始めましたが、後手後手の対応に回っているのが実情です。また、PI C/S(医薬品査察協定)及び医薬品査察協同スキーム(加)加盟に伴う医薬品製造・管理の厳格化により、今まで使用してきた薬用植物が医薬品原料として認められなくなる可能性があります。このように、薬用植物は現在、安定供給・品質管理

「動物における食べ物的重要性と食原病」と題して、ホメオパシー療法で改善した犬(ピーク)の症例2件について説明されました。

「甲状腺機能低下症と食物アレルギー」の例でしたが、いずれも臓器の働きを高め、ドックフードによる害を解毒するアップローチでレメディーを選

#### 夢で会長が言う

「中国は、薬用植物の生産・輸出入・国際標準化のイニシアチブを取るため、国家戦略的に着々とシステムや法の整備を進めています。一方、日本ではようやく官民一体となつて、薬用植物の国内生産を上げる取り組みを始めましたが、後手後手の対応に回っているのが実情です。また、PI C/S(医薬品査察協定)及び医薬品査察協同スキーム(加)加盟に伴う医薬品製造・管理の厳格化により、今まで使用してきた薬用植物が医薬品原料として認められなくなる可能性があります。このように、薬用植物は現在、安定供給・品質管理

「動物における食べ物的重要性と食原病」と題して、ホメオパシー療法で改善した犬(ピーク)の症例2件について説明されました。

「甲状腺機能低下症と食物アレルギー」の例でしたが、いずれも臓器の働きを高め、ドックフードによる害を解毒するアップローチでレメディーを選



薬草栽培の展望について詳しく講演する小谷氏

「中国は、薬用植物の生産・輸出入・国際標準化のイニシアチブを取るため、国家戦略的に着々とシステムや法の整備を進めています。一方、日本ではようやく官民一体となつて、薬用植物の国内生産を上げる取り組みを始めましたが、後手後手の対応に回っているのが実情です。また、PI C/S(医薬品査察協定)及び医薬品査察協同スキーム(加)加盟に伴う医薬品製造・管理の厳格化により、今まで使用してきた薬用植物が医薬品原料として認められなくなる可能性があります。このように、薬用植物は現在、安定供給・品質管理

「中国は、薬用植物の生産・輸出入・国際標準化のイニシアチブを取るため、国家戦略的に着々とシステムや法の整備を進めています。一方、日本ではようやく官民一体となつて、薬用植物の国内生産を上げる取り組みを始めましたが、後手後手の対応に回っているのが実情です。また、PI C/S(医薬品査察協定)及び医薬品査察協同スキーム(加)加盟に伴う医薬品製造・管理の厳格化により、今まで使用してきた薬用植物が医薬品原料として認められなくなる可能性があります。このように、薬用植物は現在、安定供給・品質管理

「中国は、薬用植物の生産・輸出入・国際標準化のイニシアチブを取るため、国家戦略的に着々とシステムや法の整備を進めています。一方、日本ではようやく官民一体となつて、薬用植物の国内生産を上げる取り組みを始めましたが、後手後手の対応に回っているのが実情です。また、PI C/S(医薬品査察協定)及び医薬品査察協同スキーム(加)加盟に伴う医薬品製造・管理の厳格化により、今まで使用してきた薬用植物が医薬品原料として認められなくなる可能性があります。このように、薬用植物は現在、安定供給・品質管理

「中国は、薬用植物の生産・輸出入・国際標準化のイニシアチブを取るため、国家戦略的に着々とシステムや法の整備を進めています。一方、日本ではようやく官民一体となつて、薬用植物の国内生産を上げる取り組みを始めましたが、後手後手の対応に回っているのが実情です。また、PI C/S(医薬品査察協定)及び医薬品査察協同スキーム(加)加盟に伴う医薬品製造・管理の厳格化により、今まで使用してきた薬用植物が医薬品原料として認められなくなる可能性があります。このように、薬用植物は現在、安定供給・品質管理